


☆☆

 群馬積層造形プラットフォーム

◆2023年6月号

◆目次

- ・GAM 技術報告会開催報告
- ・GAM 技術報告会『探索マップ』について
- ・GAM 技術報告会 東亜工業(株)、しげる工業(株)、共和産業(株)の取組みと成果発表
- ・キャスト様 見学会報告(訪問日：6月12日及び13日)

◆一般社団法人 群馬積層造形プラットフォームウェブサイト

<https://gam.or.jp/>

☆☆

<GAM 技術報告会を開催>

5月17日(水)、群馬県庁32階「Netsugen」にてGAM技術報告会を実施しました。会場にはAMに関心をもつ多くの企業、大学が集まるとともに、WEB配信でも多数の視聴者が集まりました。山本群馬県知事もご登壇くださり、GAMへの応援メッセージをいただきました。報告会では、GAMの設立から参画する東亜工業株式会社、しげる工業株式会社、共和産業株式会社が約2年間のGAMの活動を振り返るとともに、今後の展望を報告しました。また、新たにGAMに加わった群馬県立群馬産業技術センターと、フランス国立産業技術センターにあたるCetimの紹介を行ない、今後のテーマとして「コンフォーマル冷却金型へのAMの適用」と「少量生産品へのAMの適用」から取り組んでいくことを発表しました。更に、GAMメンバーで課題を乗り越えてAMの新たな価値を目指すための『探索マップ』について説明を行ないました。引き続き行われた技術交流会では、東亜工業株式会社、しげる工業株式会社、共和産業株式会社の技術者が、GAMでのAMに関連する共同開発の技術成果について説明し、AMのものづくりへの実装に向けた取り組みを紹介しました。今後も継続してAMの実用化に向けた成果の発信を行なっていきます。



GAM 技術報告会を開催

GAM の「探索マップ」発表

5 月 17 日、GAM 技術報告会において、「コンフォーマル冷却金型」と「少量生産品」への金属積層造形の適用を GAM が最初に取り組むテーマと定め、このテーマにおける「探索マップ」を発表しました。「探索マップ」とは、GAM が金属積層造形で新たな価値を生み出すに至るまでの道筋を示すマップです。「GAM の目指す価値」、「価値を実現するための方策」、「乗り越えるべき課題」、「AM のもたらす新たな価値（ゴール）」の 4 つのステップで構成されます。このマップを元に共同開発を行いながら、課題や解決の方策を明確にします。そして柔軟にマップを更新しながら、志を同じくする仲間と新たな価値創造を目指します。



GAM 技術報告会を開催

<東亜工業(株)、しげる工業(株)、共和産業(株)が GAM での AM 技術開発について発表>

5 月 17 日、GAM 技術報告会において、GAM 創設時よりのメンバーである東亜工業株式会社、しげる工業株式会社、共和産業株式会社が GAM での AM 技術開発について発表しました。東亜工業は HSP 金型への AM 技術を適用する場合の価値や課題について、試作結果とともに AM 技術を実用化する意義について説明。しげる工業は樹脂成型に使用するコンフォーマル冷却金型へ AM を適用する場合の価値の検証について説明。共和産業はプロトタイプ部品製造への AM 技術の適用についての成果と今後の展望について説明。詳しくは GAM のホームページで。 (<https://gam.or.jp/>)



発表会社による活動内容を説明

<(株)キャストック様 見学会開催>

GAM は、6月12日と13日に埼玉県加須市にある株式会社キャストック様の工場見学会を実施しました。キャストック様は業界でいち早く金属3Dプリンターを導入し、従来の加工方法と融合したプロセスにより効率的な生産を実現していました。見学をした方々は金属積層技術の未来に触れることができ有意義な時間となりました。



GAM に関するお問い合わせは contact@gam.or.jp まで
ニュースレターの配信停止はこのメールに、『配信停止希望』とご返信ください

発行元: 一般社団法人 群馬積層造形プラットフォーム
電話: 0276-25-4856